

# 2人のさらなる飛躍に期待!



市政トピックス

## 北都銀行バドミントン部 永原選手&松本選手 おめでとー! 秋田ふるさと市民賞



10月2日の表彰式で。前列中央が両選手

広報あきた9月7日号でもお知らせしたとおり、「第24回世界バドミントン選手権大会」で、女子ダブルスに出場した北都銀行バドミントン部の永原和可那選手、松本麻佑選手が見事優勝を飾りました。

市ではこの栄誉を称え、10月2日、両選手に「秋田ふるさと市民賞」を贈呈しました。これからの2人の活躍に期待が高まります!  
”ファイト! ナガマツペア!!”

総務課 ☎(888)5423

### 喜びの声



永原和可那選手

(北海道から)秋田に来た私  
が、このような賞をいただけることは本当にうれしく光栄に思います。

地元のかたがたやチームメイト、そして家族に支えられながら今の自分があると思っています。これからもバドミントンを通じて、みなさんに感謝の気持ちを表現していきたいと思っています。



松本麻佑選手

世界選手権初出場ということで、初めは緊張もあり、なかなか自分たちの思うようなプレーができずに悔しい展開もありましたが、何とか乗り越え、優勝することができて  
本当にうれしいです。

まだまだ足りない部分があるので、これから  
も2人で日々精進していきたいと思っています。

## 文化振興への貢献に敬意を表して～秋田市文化章～

平成30年度秋田市文化章の受章者が、次のお二人に決まりました。文化章は、芸術・学術・産業・経済・教育・スポーツなどの各分野で市の文化振興に貢献したかたに贈られます。

表彰式は、11月1日(木)午後4時30分から秋田キャッスルホテルで行います。

文化振興課 ☎(888)5607

### 学術(歴史)

半田和彦さん



長年、秋田藩の歴史について研究を重ね、秋田の近世史の第一人者として、手引書と

もなる著作の発行や多数の研究論文の発表などを行ってきました。

また、佐竹史料館協議会会長などを歴任し、市の歴史と文化を活かしたまちづくりにも貢献されています。

### 洋舞

奥村信子さん(本名長谷川信子)



昭和46年にモダンバレエ研究所を創設し、長年、後進の育成に尽力されました。

また、文化庁の現代舞踊フェスティバルでの受賞のほか、秋田わか杉国体での振り付け担当、「踊る。秋田」への出演など、市のバレエ文化の発展に貢献されています。

# 11月は秋の清掃月間

町内のみなさんで協力して、落ち葉などが散乱している地域の公園や道路などをきれいにしましょう。

清掃活動の実施日時・場所はあらかじめ各町内会で決めたうえで、住民のみなさんへお知らせするようお願いします。



問い合わせ・申し込み・連絡などは、平日8:30~17:15にお願いします

■ ボランティア袋が必要な町内は、**環境都市推進課**へ申請が必要です  
→☎(888)5709

■ 清掃で出たごみは、所定の集積所に出してください。「家庭ごみ」の日に収集します。大量にごみが出る場合は、**環境都市推進課**へ事前にご連絡ください→☎(888)5709

■ 泥やさびなどが付着したびん・缶はボランティア袋に入れて、「家庭ごみ」の収集日にごみ集積所へ出してください。詳しくは、**環境都市推進課**へご連絡ください  
→☎(888)5709

■ 不法投棄物を発見した場合は、そのままの状態にして、**廃棄物対策課**へご連絡ください  
→☎(888)5713

■ 側溝清掃用土のう袋の配布とふた上げ機の貸し出しは、旧道路維持課(寺内字蛭根85-9)で行います。**道路維持課**へお申し込みください→☎(888)5751

■ 清掃後の土のう袋は回収します。袋の数と集積場所を、**道路維持課**へご連絡ください→☎(888)5751

■ 公園内のごみは、**公園課**が回収します。ごみ集積所には出さず、清掃終了後にご連絡ください  
→☎(888)5753

清掃全般については、環境総務課へお問い合わせください。

☎(888)5705



寄付者

株式会社共和

秋田市に営業拠点を構えて、今年で創業50周年を迎えることができましたのは、市民のみなさんのおかげとの感謝の思いから、100万円を寄付していただきました。  
総務課☎(888)5423  
…9月27日の贈呈式で。  
右が村上進代表取締役社長

寄付・寄贈ありがとうございます



寄贈者

NPO法人  
日本移植支援協会

命の大切さや移植医療への理解を深めるきっかけ作りのため、市立小・中学校に対し、臓器移植をテーマにした絵本「大きな木」を寄贈していただきました。  
教育委員会総務課  
☎(888)5803  
…9月25日の贈呈式で。NPO法人日本移植支援協会のみなさん(右側3人。写真の中央が高橋和子理事長)と穂積市長、佐藤教育長

通帳のように記帳できます。詳しくは各市立図書館で



寄贈者

株式会社北都銀行

お子さんが市立図書館で借りた本を、印字して残しておける「読書の記録帳」の専用ケースを寄贈していただきました。  
新たに記録帳を作るかただけでなく、すでに記録帳をお持ちのかたにも差し上げています。各市立図書館のカウンターへお越しください。  
ほくとライブラリー明徳館  
☎(832)9220